

# 令和3年度 国立国会図書館職員採用試験案内

## 障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）

受験資格	<p>次の①及び②の要件を満たす者</p> <p>①次のa又はbのいずれかに該当する者</p> <p>a. 昭和57年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた者</p> <p>b. 平成13年4月2日以降に生まれた者で、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者          (ア) 学校教育法による大学、短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又は令和4年3月までに卒業する見込みの者          (イ) 館長が(ア)に掲げる者と同等の資格があると認める者</p> <p>②次のcからgまでに掲げる手帳等のいずれかの交付を受けている者</p> <p>c. 身体障害者手帳</p> <p>d. 身体障害者福祉法第15条の規定により都道府県知事が定める医師が、当該都道府県において同条の申請に用いられる様式により作成した、障害の種類及び程度並びに障害者の雇用の促進等に関する法律別表に掲げる障害に該当する旨が記載された診断書・意見書</p> <p>e. 産業医又は健康管理医によるdに準じる診断書・意見書（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう若しくは直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫又は肝臓の機能の障害に係るものを除く。）</p> <p>f. 都道府県知事若しくは政令指定都市市長が発行する療育手帳等又は児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医若しくは障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書</p> <p>g. 精神障害者保健福祉手帳</p> <p>*いずれの手帳等についても、交付申請中の者は、第2次試験の試験日までに交付を受けている必要があります。</p>
受付期間	<p style="text-align: center;"><b>3月22日(月)～4月7日(水)</b>(消印有効)</p> <p style="text-align: center;">特定記録郵便による<u>郵送のみ</u>(持参不可)</p>
第1次試験	<p>【専門試験（記述式）、英語試験（多肢選択式）】</p> <p style="text-align: center;"><b>6月6日(日)</b></p> <p style="text-align: center;">試験会場：国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）</p> <hr/> <p style="text-align: center;">合格者発表　　6月29日(火)</p>
第2次試験	<p>【人物試験（個別面接）】</p> <p style="text-align: center;"><b>7月13日(火)</b></p> <p style="text-align: center;">試験会場：国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）</p> <hr/> <p style="text-align: center;">最終合格者発表　　7月28日(水)以降</p>
採用予定数	<p style="text-align: center;">若干名</p>

次のいずれかに該当する者は、本試験の受験資格がありません。

- (ア) 日本の国籍を有しない者
- (イ) 国会職員法（昭和22年法律第85号）第2条の規定により国会職員となることができない者
- (ウ) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者（心神耗弱を原因とするもの以外）

※ 詳細は当館ホームページ「採用情報」(<https://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>)を確認するか、国立国会図書館総務部人事課任用係 [03-3506-3315] へお問い合わせください。

## 国立国会図書館障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）

本試験は、調査業務、司書業務、一般事務等の館務を行う国立国会図書館の職員を採用するもので、人事院の行う国家公務員採用試験とは別に国立国会図書館が独自に実施している国家公務員採用試験です。

### 受験申込手続

#### (1) 当館職員採用試験の申込み

申し込むことができる試験の種類は、総合職試験、一般職試験（大卒程度試験）、施設設備専門職員採用試験（大卒程度試験）又は障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験）のうち1種類に限ります（同じ年度において受験できる試験の種類は1つのみです。）。

#### (2) 提出書類

##### 〔印刷版を使用する場合〕

受験申込書、写真票、受験票及び受験時の配慮事項調査票（当試験案内に添付のもの）1部記入要領（p.4、5、6）を必ず参照し、必要事項を漏れなく記入の上、写真及び63円切手を指定箇所に貼ってください。受験申込書と写真票、受験票は切り離さずに提出してください。

##### 〔国立国会図書館ホームページからのダウンロード版を使用する場合〕

受験申込書、写真票、受験票及び受験時の配慮事項調査票 各1部

記入要領（p.4、5、6）及び国立国会図書館ホームページに掲載の「ダウンロード用書類作成・提出要領」（[https://www.ndl.go.jp/jp/employ/r3\\_download\\_manual.pdf](https://www.ndl.go.jp/jp/employ/r3_download_manual.pdf)）を必ず参照し、必要事項を漏れなく記入の上、写真を指定箇所に貼ってください。受験票には必ず通常はがき（63円）を使用してください。

**\*必要事項の記入漏れ、貼り忘れは申込みが無効となることがあります。**

#### (3) 申込方法

受験申込書の提出は郵送に限ります。郵便局の窓口で、特定記録郵便扱いとし、封筒の表に、「職員採用試験受験申込書在中」と朱書してください。また、封筒の裏面に申込者の住所及び氏名を明記してください。なお、郵送手続時に受け取った控え（特定記録郵便物受領証）は、受験票が到着するまで必ず保管してください。

宛先：〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1  
国立国会図書館総務部人事課任用係

#### (4) 受付期間

令和3年3月22日(月)から令和3年4月7日(水)(消印有効)まで

#### (5) 申込受付後の流れについて

- ・受験申込書受付後、受験票を郵送します。4月16日(金)正午までに受験票が到着しない場合は、国立国会図書館総務部人事課任用係 [03-3506-3315] まで必ずお問い合わせください。問合せなく、受験票を持参せず試験会場に来て受験できない場合があります。
- ・申込受付後は、専門試験（選択科目）の変更はできません。

#### (6) 受験上の配慮

- ①視覚障害のある方については、その障害の程度により、点字による受験を認め、解答時間の延長（1.5倍）を行います。補助として、ご持参のパソコンのスクリーン・リーダーによる音声読み上げの併用も可能です。点字による受験を希望される方は、3月22日(月)から4月7日(水)17時までに必ず国立国会図書館総務部人事課任用係 [03-3506-3315]に申し出た上で、その指示に従い障害の程度を証明する書類を提出し、受験時の配慮事項調査票に点字受験希望の旨を記載して申し込んでください。
- ②受験に際し、障害があるため①以外に何らかの配慮（車椅子用の座席の用意、拡大鏡・補聴器・パソコン等の持参許可、拡大文字問題の用意、試験室入口までの付添者の同伴許可等）を希望される方は、3月22日(月)から4月7日(水)17時まで国立国会図書館総務部人事課任用係 [Tel: 03-3506-3315 Fax: 03-3581-1758] に申し出た上で、受験時の配慮事項調査票に希望する配慮の内容を記載してください。配慮の対象となるかどうかを確認するため、手帳の写し又は専門医の診断書を別途提出いただくことがあります。

## 試験の方法

試験	試験種目	内容	時間
第1次試験	専門試験（記述式）	次のうち、受験者があらかじめ選択する1科目についての筆記試験 法学（憲法、民法、行政法、国際法から受験時に2分野選択）、政治学、経済学、社会学、文学、史学（日本史、東洋史、西洋史から受験時に1分野選択）、図書館情報学、物理学、化学、数学、工学・情報工学（工学全般、情報工学から受験時に1分野選択）、生物学	90分
	英語試験（多肢選択式）	長文読解	60分
第2次試験	人物試験	個別面接	

\* 第1次試験の際、質問紙法による性格検査を行い、人物試験の参考とします。

## 合格者発表

	日時	方法
第1次試験合格者発表	令和3年6月29日（火） 午前10時	合格者の受験番号を、国立国会図書館東京本館外部総合案内板（利用者入口南側）及び国立国会図書館関西館西口に掲示するほか、国立国会図書館ホームページ（「採用情報」のページ）に掲載します。 合格者には郵便で通知します。
最終合格者発表	令和3年7月28日（水） 以降	第2次試験の受験者全員に合否通知を郵送します。 また、国立国会図書館ホームページ（「採用情報」のページ）に合格者の受験番号を掲載します。

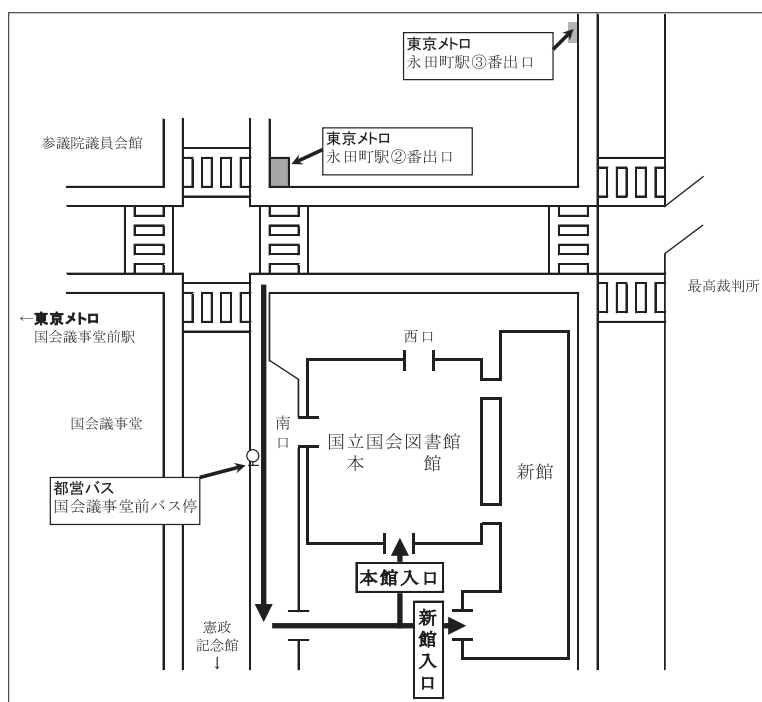
## 採用・待遇等

- (1) 採用年月日  
原則として、令和4年4月1日
  - (2) 身分  
国会職員（特別職国家公務員）\*勤務条件等は一般職国家公務員とほぼ同様です。
  - (3) 給与  
令和3年度国立国会図書館職員採用一般職試験（大卒程度試験）により採用される職員と同等です。  
初任給（令和2年度 例）  
行政職給料表（一） 1級25号給（182,200円）  
（参考）東京都特別区内に勤務する場合の地域手当加算後の額 218,640円  
\*国会職員の給与等に関する規程に基づき、期末手当、勤勉手当、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。
  - (4) 官署及び勤務地  
ア 東京 国立国会図書館東京本館 東京都千代田区永田町1-10-1  
国立国会図書館国際子ども図書館 東京都台東区上野公園12-49  
イ 京都 国立国会図書館関西館 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3  
この採用試験により国立国会図書館職員として採用し、上記いずれかの官署に配属します。国立国会図書館として一体となった業務・サービスを行うため、**官署間の異動、東京と京都の間の転勤があります。**
  - (5) 昇任  
昇任の基準は原則として人事院規則に準じます。当館職員として能力の向上、経験の蓄積を図るため、複数部署の業務を経験しながら昇任することを基本とします。
  - (6) 福利・厚生  
衆議院共済組合国立国会図書館支部の契約する福利・厚生サービスのほか、国家公務員共済組合連合会（KKR）の運営する医療機関、宿泊施設等を組合員価格で利用できます。東京勤務者のために東京（東京都渋谷区）に代々木上原寮（独身者用）があり、京都勤務者のために京都（京都府相楽郡精華町）に京都宿舎があります。
- \* 当館ホームページ「採用情報」（<https://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>）に最新の情報を掲載します。

## 第1次試験会場

- \* 試験日当日に発熱、咳、咽頭痛、だるさなどの症状のある方は、来館を控えていただくようお願いいたします。また、会場で37.5度以上の発熱が確認された場合も試験を受けることができません。なお、これを理由とした欠席者向けの試験の再実施は予定しておりません。
- \* 当館内ではマスクの着用をお願いします。
- \* 受付時間（9：10～9：40）に遅れた場合は、受験できません。ただし、交通機関の不通、遅れによるときは、当該交通機関が発行する紙の遅延証明書の提出を条件として受験を認める場合があります。

国立国会図書館東京本館（東京都千代田区永田町1-10-1）



・西口、南口は利用できません。

**記入要領**

(記入例)

#

受験番号

---

令和3年度国立国会図書館障害者（係員級）採用試験 受験申込書

私は、令和3年度国立国会図書館障害者（係員級）採用試験を受験したいので、申し込みます。  
 なお、私は、日本国籍を有しており、国会職員法第2条各号のいずれにも該当しておらず、平成11年改正前  
 の民法の規定による準禁治産の宣告（心神耗弱を原因とするものを除く）を受けていません。  
 また、この申込書の全ての記載事項は事実と相違ありません。

令和3年4月5日

① ふりがな ながた まこと

氏名 永田 真

② 専門試験（選択科目） 法学

③ 生年月日 昭和・平成 10年2月8日 ④ 性別  男  女

⑤ 連絡先  
 現住所 〒612-xxxxx  
 京都府京都市伏見区××町1-23 メゾンNDL405  
 ( 方) 電話 (075) xxx-0000 携帯電話 (080) □□□-△△△△  
 ふりがな □□□□ えぬでいーえるととじーおーどとじーいびー  
 メールアドレス □□□□@n d l . j o . j p

⑥ 不在の際の連絡先 氏名： 永田 健 電話： ( 03 ) △△△△ - ××××

学 歴		卒業等の区分 (○で囲んでください)
在学期間	学校名	学科名・専攻等
平成 25年4月～28年3月	NDL 高等学校	卒 ( 学年 )
令和 28年4月～2年3月	京阪奈大学	卒 ( 卒業・修、修見込 ・中退、在 ( 学年 ) )
2年4月～4年3月	京阪奈大学大学院	卒・卒見込・修 ( 修見込 ・中退、在 ( 学年 ) )
年 月～ 年 月		卒・卒見込・修、修見込 ・中退、在 ( 学年 ) )
年 月～ 年 月		卒・卒見込・修、修見込 ・中退、在 ( 学年 ) )

⑧ 手帳等の種類  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 学籍名 ○○○○○○ 級別 ○○級  
 交付・再発行年月日(最新の日付) 令和3年 ○月 ○日  
 有効期限(精神障害者保健福祉手帳の場合) 令和3年 ○月 ○日  
 (更新申請日 令和3年 ○月 ○日)

(注意事項) ・必ず記入要領を参照しながら記入してください。  
 ・記載内容に不正があると受験が無効になる場合があります。  
 ・受験申込書を送付する前に、もう一度記載及び未記入箇所がないか確認してください。

**〔国立国会図書館ホームページからのダウンロード版を使用する場合〕**  
 国立国会図書館ホームページに掲載の「ダウンロード用書類作成・提出  
 要領」を必ず確認してください。  
 (https://www.ndl.go.jp/employ/r3/download\_manual.pdf)

**【受験申込書】**

- ① 各事項について確認の上、確認した日付、氏名、ふりがなを記入してください。
- ② 氏名は、**戸籍上の氏名を正確に記入してください。**  
 専門試験（選択科目）  
**必ず記入してください。**また、法学、史学、工学、情報工学を選択する場合は、それぞれ「法学」、「史学」、「工学・情報工学」と記入してください。
- ③ 生年月日
- ④ 性別 戸籍上の性別を選択（チェック）してください。
- ⑤ 連絡先  
 現住所に合格通知等を送付いたします。**正確に記入してください。**  
 メールアドレスにはPCで閲覧できるメールアドレスを記入してください。  
 <メールアドレスのふりがな 記入例>  
 ぞろきゆうえるあいにあんだーばーいーちおーゆーあーるはいふんぜつと  
 091121-10ur-z@  
 えぬでいーえるととじーおーどとじーいびー  
 ndl.goo.jp

**⑥**

不在の際の連絡先  
**実家の御家族等の連絡先を記入してください。**

**⑦**

学籍  
 博士課程及び修士課程の場合  
 ・博士号（修士号）取得予定 → 「修見込」  
 ・博士号（修士号）取得 → 「修」  
 ・それ以外 → 「在学」又は「中退」  
 （単位取得中退の場合は、その旨を書き添えてください。）

**⑧**

手帳記載事項  
 交付されている手帳等のうち、主なものに基づいて記入してください。  
 複数の手帳等を交付されている場合であっても、一つのみとして  
 ください。  
 ・手帳等に記載されていない場合は、障害名の記載がない旨記入して  
 ください。  
 ・交付・再発行年月日は、最も新しい日付を記入してください。  
 ・精神障害者保健福祉手帳の場合は、有効期限を記入してください。  
 ・有効期限が申込期間の最終日（令和3年4月7日）以前の場合は、  
 手帳の更新申請日を記入してください。

**\*書き損じた場合は、二重線で消して訂正印を押してください。**

(記入例)

受験番号

\*

令和3年度国立国会図書館職員(係員級)採用試験 写真票

第1次

\*

写真

縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向き、申込前3か月以内に撮影のもの。

不鮮明、その他受験写真として適当でない場合は受理しません。

⑨

⑩ 氏名	永田 真
⑪ 生年月日	昭和 10 年 2 月 8 日

⑫ 63円切手を貼ってください

郵便はがき

6 / 2 / × / × / × / ×

⑬ XX町1-23 X/N/N/DL405

(住所) 京都市伏見区

(氏名) 永田 真 殿

(差出人) 〒100-8924  
東京都千代田区永田町1-10-1  
国立国会図書館総務部人事課  
電話：03(356)3315

令和3年度国立国会図書館職員採用試験 受験票

受験番号	*
専門試験(選択科目)	法学
第1次試験会場	* <input type="checkbox"/> 東京本館 (本館) <input type="checkbox"/> 東京本館 (新館)

※の欄には記入しないでください。

【写真票】

- ⑨ 必ず写真を貼ってください。  
裏面に氏名を記入の上、裏全面のりをつけ、しっかりと貼ってください。
  - ⑩ 氏名
  - ⑪ 生年月日
- \*裏面のアンケートにも御協力ください。

【受験票】

- ⑫ [印刷版] 必ず63円切手を貼ってください。  
[ダウンロード版] 必ず通常はがき(63円)を使用してください。  
「ダウンロード用書類作成・提出要領」を確認し、はがきの表面(住所を記入する面)に受験票を、裏面(白紙の面)に「受験上の注意」をのり付けしてください。
  - ⑬ 郵便番号、住所、氏名
  - ⑭ 専門試験(選択科目)  
必ず記入してください。また、法学、史学、工学・情報工学を選択する場合は、それぞれ「法学」、「史学」、「工学・情報工学」と記入してください。
- \*「殿」は二重線で消さないでください。

記入上の注意

- (1) ※印欄を除く全ての欄に漏れなく記入してください。
- (2) 記入漏れ、写真・切手の貼り忘れは申込みが無効になる場合があります。
- (3) 青か黒の消えないインク(同色のボールペンの使用は可)で正確に、丁寧に書いてください。
- (4) 数字は算用数字を用いてください。
- (5) 記載事項に不正があると受験が無効になる場合があります。

## 受験時の配慮事項調査票の記入上の注意事項

受験に当たり、希望する配慮を記入してください。なお、障害の種類・程度及び希望する配慮の内容により、医師の診断書等の提出を求める場合があります。

### ①受験に際し、配慮を必要とする

配慮を必要とする方は『はい』を、配慮を必要としない方は『いいえ』を、○で囲んでください。『いいえ』を○で囲んだ方は、以下にチェックする必要はありません。

### ②英語試験及び専門試験の問題について

点字又は拡大文字での出題を希望する方はチェックしてください。

#### 【問題文を読むに当たってのパソコンの使用について】

視覚障害のある方については、問題文を読むに当たって、パソコンのスクリーン・リーダーによる音声読み上げを併用することが可能です。パソコンは受験者の持込みとし、解答時間中はイヤホンを使用していただきます。パソコンの使用については、試験日の1～2日前に当館へご来館いただき、設定等の確認を行う予定です。

### ③英語試験及び専門試験の解答について

点字又はパソコンを使用しての解答を希望する方はチェックしてください。

#### 【解答に当たってのパソコンの使用について】

視覚障害のある方及び上肢機能障害等で筆記が困難な方については、パソコンによる解答が可能です。パソコンの使用については、配慮希望をふまえて調整します。

※性格検査の出題方法及び解答方法については別途調整します。

### ④試験官及び受験者の発言事項を書面・パソコン等で伝達する

試験官及び受験者の発言事項を書面・パソコン等で伝達することを希望する場合は、伝達方法について、選択肢から1つを選択してください。

### ⑤車いす

車いすを使用する方はチェックしてください。

### ⑥公共交通機関ではなく、自家用車等で試験会場に来場する

自家用車等で来場することを希望する方はチェックしてください。

### ⑦補装具等を持ち込み

補装具等を持ち込む方は、具体的な補装具等の名称を記入してください。無線通信機能が搭載されている補装具については、試験時間中は通信機能を使用しないようにしてください。

### ⑧介助のための付添人が試験会場に同伴する

介助のための付添人が試験会場に来る場合は、チェックしてください。

### ⑨身体障害者補助犬を同伴する

身体障害者補助犬を同伴する場合は、チェックしてください。

### ⑩解答時間中、服薬を希望する

解答時間中に服薬することは可能です。希望する方はチェックしてください。

### ⑪その他

それ以外に受験時に配慮の必要がある場合は、具体的に記入してください。申請の内容によっては、試験の実施上、配慮できない場合もあります。

# 国立国会図書館の概要

## 【沿革・現況】

国立国会図書館は、旧帝国憲法時代に設けられた貴族院・衆議院の図書館と旧帝国図書館を前身として、昭和23年（1948年）、国立国会図書館法に基づき設立されました。この法律の前文には「国立国会図書館は、真理がわれらを自由にするという確信に立つて、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」とその理念がうたわれています。

当初は赤坂離宮（現迎賓館）で開館し、昭和36年に現在地へ移転、昭和43年に本館、昭和61年に新館が完成しました。情報化社会の進展とともに当館に寄せられる期待は一層高まり、平成14年には関西館、国際子ども図書館が全面開館し、規模・蔵書数ともに、世界有数の図書館となりました。

現在は、東京本館、関西館、国際子ども図書館の三施設による一体的な業務運営を行っています。

東京本館は、国立国会図書館全体を統括し、国会サービスを始め、納本制度による資料収集から一般公衆への情報提供まで、あらゆるサービスの向上に取り組んでいます。

関西館は、アジア情報の提供、来館及びインターネットを通じた文献提供サービス、電子図書館事業、図書館協力等、さらに高度な図書館サービスを展開する拠点として活動しています。

国際子ども図書館は、内外の児童書及び関連資料を広範に収集し、電子図書館機能を活用した情報提供を行う児童書のナショナルセンターとして、子どもの読書環境・情報提供環境の向上に努めています。

令和2年度の職員数（定員）は892人です。

## 【統計】

- 蔵書数（令和元年度末現在）
  - ・図書 1,155万点
  - ・逐次刊行物（雑誌・新聞） 1,902万点
- 一般公衆に対する奉仕（令和元年度実績）
  - ・来館者数 70万人
  - ・レファレンス回答 73万件
  - ・複写処理件数 149万件
- 国会に対する奉仕（令和元年度実績）
  - ・調査処理件数 4万件

## 【機能】

国立国会図書館は立法府に属する国会図書館として、また日本で唯一の国立図書館として、一般の公共図書館等とは異なるいくつかの機能を持っています。

○国会に対する奉仕  
国会議員等からの依頼に基づいて、法案等の案件の分析・評価、国政審議に必要な政治、経済、社会各般にわたる調査活動を行います。

○行政・司法各部門に対する奉仕  
各行政省庁及び最高裁判所におかれた支部図書館を通じて、行政・司法各部門に資料提供、レファレンス等の図書館サービスを提供します。

○一般公衆に対する奉仕  
広く国民一般に対し、レファレンス・サービス、館内閲覧、図書館間貸出による資料提供、来館及び郵送による複写サービス等を行います。

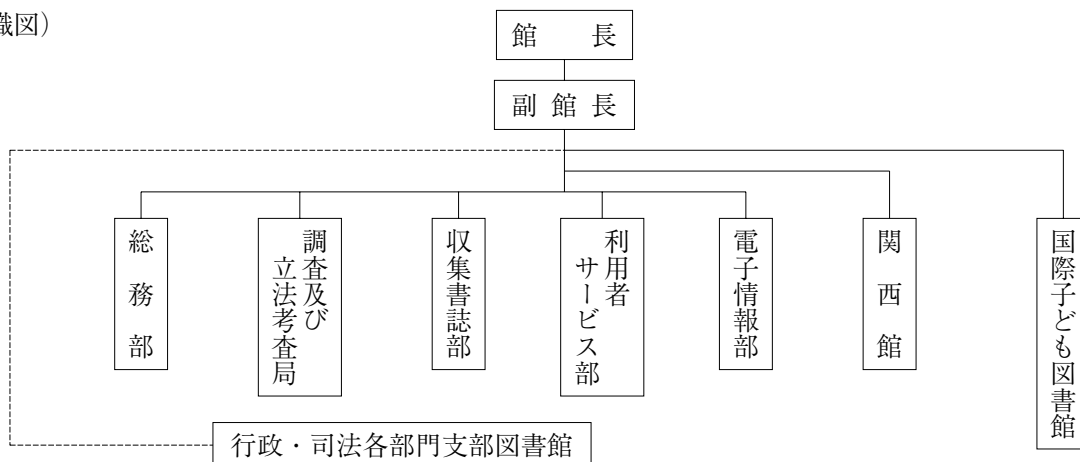
○資料の収集と保存  
国内の出版物については、国立国会図書館法に規定する納本制度により、網羅的収集に努めます。外国資料は、購入、寄贈、国際交換等により収集し、蔵書の充実をはかります。  
収集した資料を国民の文化財として永く保存します。また資料保存に関する企画、調査、研究を行います。

○資料の整理、書誌の作成  
全国書誌をはじめとする基本書誌、専門書誌、及び各種索引類を作成します。  
また、ホームページで国立国会図書館オンラインをはじめとする書誌データベースを公開しています。

○図書館協力  
国内の様々な図書館や図書館関係団体と、さらには、日本の図書館を代表して、国際機関及び世界各国の図書館と、図書館活動全般にわたる協力を行います。

○電子図書館  
資料の電子化やデジタル情報の収集・保存・提供を進めています。

（組織図）



（令和3年2月時点）

## 国立国会図書館総務部人事課任用係

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

<https://www.ndl.go.jp/jp/employ/index.html>

Tel 03 (3506) 3315

Fax 03 (3581) 1758